



みんなで学ぶ災害対策 (令和元年度 小平市総合防災訓練)

令和元年9月定例会は、9月3日から30日まで28日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和元年度一般会計補正予算(第2号)など26件の市長提出議案を可決・同意しました。議員提出議案は、選択的夫婦別姓制度について十分な国会審議を求める意見書など3件を可決し、請願は1件を採択し、1件を閉会中の継続審査としました。

なお、定例会最終日に提出された平成30年度各会計歳入歳出決算の認定議案については特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

また、9月4日から3日間にわたり、25人の議員から52件の一般質問がありました。

## 9月定例会

# 令和元年度一般会計補正予算(第2号)など 29議案を可決

—平成30年度決算審査のための特別委員会を設置—

議会を傍聴  
しませんか?

今後の

## 市議会の日程(予定)

### 開会時刻

原則として午前9時

### 場 所

市役所7階

傍聴される方は、  
議会事務局へ  
お越しください。

- 11月 4日 (月) 市民と議会の意見交換会 (※1)
- 11月 5日 (火) 市民と議会の意見交換会 (※1)
- 11月11日 (月) 公共施設マネジメント調査特別委員会 (※2)
- 市民と議会の意見交換会 (※1)
- 11月12日 (火) 総務委員会 (※2)
- 請願・陳情締め切り (午前中) (※3)
- 11月13日 (水) 生活文教委員会
- 11月14日 (木) 厚生委員会
- 11月15日 (金) 環境建設委員会 (※2)
- 11月21日 (木) 議会運営委員会 (※4)
- 11月26日 (火) 12月定例会本会議 (初日)
- 11月27日 (水) 12月定例会本会議 (一般質問)

- 11月28日 (木) 12月定例会本会議 (一般質問)
- 11月29日 (金) 12月定例会本会議 (一般質問)
- 12月 3日 (火) 総務委員会
- 12月 4日 (水) 生活文教委員会
- 12月 5日 (木) 厚生委員会
- 請願・陳情締め切り (午前中) (※5)
- 12月 6日 (金) 環境建設委員会
- 12月10日 (火) 広聴広報特別委員会
- 12月11日 (水) 小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会
- 12月16日 (月) 議会運営委員会 (※4)
- 12月19日 (木) 12月定例会本会議 (最終日)
- 広聴広報特別委員会 (※4)

- 1月14日 (火) 広聴広報特別委員会
  - 1月15日 (水) 都市基盤整備調査特別委員会
  - 1月16日 (木) 公共施設マネジメント調査特別委員会
  - 1月22日 (水) 都市基盤整備調査特別委員会 (※2)
  - 1月24日 (金) 小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会
- (※1) 詳細は、8面をごらんください。  
(※2) 当日は現地視察を予定しており、委員会室での議案や請願などの審査または調査はありません。  
(※3) 12月定例会初日工程の受け付け期限です。  
(※4) 開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。  
(※5) 12月定例会最終日工程の受け付け期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

# 可決または同意した 主な議案

## 令和元年度一般会計 補正予算（第2号）

本補正予算は、平成30年度の決算をもとに、繰越金の整理等を行い、これに伴い確保される財源を活用し、市の喫緊の課題である保育園待機児童の解消などに取り組むほか、基金積立金を増額し、財政基盤の安定化を図るものです。

歳出の主な内容としては、待機児童の解消に向けて、令和2年度に新規開設する私立保育園

## 平成30年度決算 特別委員会を 設置

（市長提案の説明要旨）

平成30年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月15日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、その後採決する予定です。

### 〔一般会計〕

歳入総額663億1千48万9千円、歳出総額664億1千5百18万2千円、実質収支19億8千7百27万7千円となりました。歳入では、個人市民税や固定資産税が増となり、2年連続して前年度を上回りました。歳出では、空き家等対策計画

1園の建築補助を行うほか、従来の幼稚園や認可外保育施設等を利用する子どもたちのために施設等利用費を支給します。また、小・中学校、用水路及び道路などの維持管理費を増額するほか、駅前公衆喫煙所4か所の改良工事を行います。

そのほか、平成30年度の都市計画税の余剰分を都市計画事業基金に積み立てるとともに、繰越金の増に伴い、財政調整基金の積立額を増額しますが、歳入においては、財政調整基金からの繰入金を増額します。

補正予算の規模としては、歳入歳出それぞれ19億6千11万9千円を増額し、総額を6百85

の策定、老朽化したりサイクルセンターの更新、認可保育園の施設整備費の補助、立川市との図書館の相互利用の開始、都市計画道路の整備、市民窓口サービス改善の取り組みなど、小平市第三次長期総合計画に沿った事業を実施しました。

各種財政指標の一部に改善傾向が見られますが、民生費を中心とした歳出の増加が続いており、今後も持続可能な財政運営に努めていきます。

〔国民健康保険事業特別会計〕  
歳入総額73億6千4百82万8千円、歳出総額72億5百23万4千円、実質収支は1億5千9百59万4千円となりました。歳入では、国民健康保険税が前年度に比べ2・5%の増となり、一般会計繰入金は21億8千円を増り、保険給付費が前年度に比べ1・8%の減となりました。

〔後期高齢者医療特別会計〕  
歳入総額42億3千2百92万3千円、歳出総額42億5百96万3千円、実質収支は2千6百96万円となりました。歳入では、保険料が3・7%の増、歳出では、広域連合納付金が3・9%の増となりました。

〔教育委員会教育長の任命〕  
任期満了に伴う教育委員会教育長の任命について同意を求め、議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。  
古川 正之氏

〔教育委員会委員の任命〕  
任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意を求め、議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。  
石川 貞子氏

〔固定資産評価審査委員会委員の選任〕  
任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求め、議案が提出され、次のとおり選任することに同意しました。  
福井 知子氏

〔人権擁護委員候補者の推薦〕  
法務大臣から委嘱される人権擁護委員の候補者を次のとおり推薦することに同意しました。  
石川 貞子氏

命することに同意しました。  
丸山 憲子氏

○委員長 ○副委員長  
●一般会計決算特別委員会

●小野 高一 ○中江 美和  
伊藤 央 川里 富美  
きせ恵美子 鈴木だいち  
竹井ようこ 津本 裕子  
橋本 孝二 福室 英俊  
松岡あつし 水口かずえ  
山崎とも子 幸田 昌之

●特別会計決算特別委員会  
○山岸真知子 ○小林 洋子  
虻川 浩 さとう悦子  
佐藤 徹 鈴木 洋一  
橋本 久雄 比留間洋一  
細谷 正 安竹 洋平  
山浦まゆみ 山田 大輔  
吉本ゆうすけ

## 議案等に対する各議員の賛否

### 9月定例会

会派名称略称 政和：政和会（7） 公明：市議会公明党（6） フォ：フォーラム小平（4） 一人：一人会派の会（4） 共産：日本共産党小平市議団（3）  
（ ）内は各会派の議員数 生ネ：生活者ネットワーク（3） 市民：まちづくり市民こだいら（1…無会派）

区分	番号	件名	議決結果	政和		公明		フォ		一人		共産		生ネ		賛成	反対										
				小野 高一	松岡あつし	磯山 亮	鈴木 洋一	比留間洋一	福室 英俊	山田 大輔	津本 裕子	虻川 浩	山岸真知子	佐藤 徹	橋本 孝二			幸田 昌之	小林 洋子	竹井ようこ	川里 富美	吉本ゆうすけ	伊藤 央	中江 美和	橋本 久雄	安竹 洋平	細谷 正
議員提出	第8号	選択的夫婦別姓制度について十分な国会審議を求める意見書提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
市長提案	第41号	小平市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									

○：賛成 ×：反対 退：退場 -：欠席 ※議長は表決に加わりません。

区分	番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果
議員提出議案	第5号	小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会の設置について	原案可決	第11号	東京都心身障害者福祉手当に関する条例において精神障害者を適用対象とすることを求める意見書提出について	原案可決
市長提出議案	第26号	小平市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意	第37号	小平市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例	原案可決
	第27号	小平市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	第38号	小平市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第28号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	第39号	小平市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第29号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	第40号	小平市立保育園等の利用者負担額に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
	第30号	令和元年度小平市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	第42号	小平市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第31号	令和元年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第43号	小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第32号	令和元年度小平市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第44号	小平市消防団に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第33号	令和元年度小平市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第45号	小平市立小平第十二小学校増築工事（建築工事）請負契約の締結について	原案可決
	第34号	令和元年度小平市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	第46～50号	市道路線の認定について	原案可決
	第35号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	第51号	市道路線の廃止について	原案可決
第36号	小平市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決				
請願	第1号	東京都に対し東京都心身障害者福祉手当に関する条例において精神障害者を適用対象とすることを求める意見書の提出について	採択			

※1 議長は表決に加わりません。  
※2 佐藤 徹議員は欠席のため表決に加わりません。

## 政務活動費収支報告

平成30年度と平成31年4月分の政務活動費について、その収支を報告します。収支報告は、原則、前年度1年分に対して行いますが、今回は、令和元年5月に議員の改選が行われたことから、改選前の議員任期における平成31年4月分についても、あわせて報告します。

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円をかけた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

### 平成30年度 会派別収支状況

単位：円

経費項目	説明	会 派 名 ・ 人 数 (平成31年3月31日現在)							合計
		市議会 公明党 6人	フォーラム 小平 6人	政和会 5人	日本共産党 小平市議団 4人	生活者 ネットワーク 4人	緑の党 こだいら 1人	ムサシ 1人	
交付決定額 (A)		2,160,000	2,160,000	1,800,000	1,440,000	1,440,000	360,000	360,000	9,720,000
支出	調査研究費	490,732	665,287	436,342	20,048	349,230	0	0	1,961,639
	研修費	1,093,163	63,310	0	304,106	162,948	14,292	0	1,637,819
	広報費	220,458	0	96,744	0	364,635	294,514	0	976,351
	広聴費	0	1,254,482	0	86,340	0	0	0	1,340,822
	要請及び 陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	85,979	27,636	1,628	31,957	0	0	0	147,200
	資料購入費	106,478	69,412	58,968	129,574	212,327	83,671	0	660,430
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計 (B)		1,996,810	2,080,127	593,682	572,025	1,089,140	392,477	0	6,724,261
返還額 (A - B)		163,190	79,873	1,206,318	867,975	350,860	0	360,000	3,028,216

### 平成31年4月分 会派別収支状況

単位：円

経費項目	説明	会 派 名 ・ 人 数 (平成31年4月30日現在)							合計
		市議会 公明党 6人	フォーラム 小平 6人	政和会 5人	日本共産党 小平市議団 4人	生活者 ネットワーク 4人	緑の党 こだいら 1人	ムサシ 1人	
交付決定額 (A)		180,000	180,000	150,000	120,000	120,000	30,000	30,000	810,000
支出	調査研究費	0	6,901	0	0	9,864	0	0	16,765
	研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	5,875	0	5,875	0	0	0	0	11,750
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請及び 陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	173,340	0	0	0	0	0	173,340
	資料購入費	0	0	0	0	16,541	12,270	0	28,811
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計 (B)		5,875	180,241	5,875	0	26,405	12,270	0	230,666
返還額 (A - B)		174,125	0	144,125	120,000	93,595	17,730	30,000	579,575

各会派の収支報告書や領収書等は、議会図書室でごらんいただけるほか、ホームページでも公開しています。詳しくは小平市議会のホームページ (<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>) をごらんください。

# 市政を問う 一般質問要旨

## 一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問（要旨）につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



**要望書の扱い方について問う／学童クラブでの宅配弁当の導入**  
吉本ゆうすけ議員（フォーラム小平）

**小平市視覚障がい者協会の要望書を通し要望書の扱い方を問う**

**質問** ①昨年1年間、文書で寄せられた団体からの要望書数は。②7月25日に提出された視覚障がい者協会の要望書について、市のこれまでの対応は。③何年も継続的に寄せられている要望について検討されたことなどを提出者に伝えていくか。

**市長** ①30年度は41件収受した。②現在、障がい者支援課及び関係課で、それぞれの所管に属する要望事項を検討している。③その都度伝えることは難しいが、改めて要望を受けた際等の機会に伝えるよう努めている。

**学童クラブでの宅配弁当の導入について**

**質問** ①学童クラブでの宅配弁当導入について現在の考え方は。②仮に導入を検討した場合、考えられる課題は。

**市長** ①学童クラブは放課後の居場所を提供する事業であり、国の方針では昼食の提供を想定していないため、市が主体の宅配弁当等の提供は考えていない。②納品された宅配弁当の保管場所の確保等の施設・設備面での課題、アレルギーのある児童への対応や緊急時に備えた研修等の食の安全面での課題など多岐にわたっていると捉えている。



**窓口改善の取り組み／市庁舎の受動喫煙防止対策の取り組み**  
中江美和議員（二人会派の会）

**市の窓口改善の取り組みについて**

**質問** ①総合窓口委託化について、変更点を中心とした概要は。②窓口サービス改善の方針に掲げた18施策の進捗状況は。

**市長** ①これまでのフロア案内等に加え7月から市民課と保険年金課の窓口業務も一部を除き委託化を行っている。市民課窓口は税証明の発行等も行うよう業務を拡大し総合的な窓口として運用を開始するなどしている。②今回の一連の取り組みのベイスとなるものであることから、全体的に一定程度の進捗が図られているものと認識している。

**市庁舎の受動喫煙防止対策の取り組みについて**

**質問** ①公共施設における禁煙エリアとは具体的にどこか。②市庁舎の敷地内には特定屋外喫煙場所の設置基準をクリアする場所がないので、設置しないとの認識でよいのか。

**市長** ①改正健康増進法等において第一種施設の市役所本庁舎等は敷地内禁煙で、第二種施設は公民館等は屋内禁煙である。②市が管理する施設は、望まない受動喫煙防止のため敷地内の灰皿を含む喫煙施設を全て撤去することとしており、市庁舎の敷地内に設置する考えはない。



**来るSociety5.0時代に備え行財政の改革を**  
伊藤 央議員（二人会派の会）

**Society5.0時代の小平市・行革編**

**質問** ①小平市としてSociety5.0時代に向けて取り組んでいることは。②厳しさを増す財政状況や働き方改革、人口減少時代に向け、スマート自治体への転換が求められる。市の考え方と取り組みは。

**市長** ①これまで行財政の再構築を推進してきた。自治体でAIなどが導入されつつあり活用事例など情報収集を進めている。②業務プロセスの標準化、システムの標準化、AIなどの導入といったスマート自治体への転換が必要になっていく。取り組みとして、住民情報システムのクラウド化導入を進めている。③現時点での想定は困難だが、働き手不足等の解決に資する可能性があると考える。④庁内で情報共有を図り、さまざまな角度から研究していく。



**提供公園設置の判断基準を明確に／外国人との共生社会の推進**  
橋本孝二議員（市議会公明党）

**寄附及び開発行為時の提供公園設置の判断基準を明確にすべき**

**質問** ①土地、建物、現金が寄附された上水南町二丁目の物件における課題及び改善点は何か。②仮称回田町開発事業における公園設置不要の判断の経緯は。

**市長** ①遺言者の父の関係者等から土地は売却せず全て公園としてほしいとの要望があり事業に遅れが生じている。今後、市に負担をかけないという遺言者の意向等を丁寧に説明し売却の理解を得られるよう努めていく。②土地を分割取得した3社のうち1社が開発手続を開始した際、各事業者は、事業面積が3

**地域の外国人との共生社会への環境整備をより推進すべき**

**質問** ①現在の外国人に対する日本語教育推進の実態はどうか。②現在の外国人に対する地域防災推進の実態はどうか。

**市長** ①小平市国際交流協会や成人の外国人を対象に日本語会話教室の開催等している。平成27年度から小・中学生を対象に子ども日本語教室を開催し、習得できるよう取り組んでいる。②防災マップの避難所等を英語、中国語、韓国語で表記し情報提供を行うなどしている。



**天候不順等による学校プールのあり方／中高生の居場所の充実**  
幸田昌之議員（市議会公明党）

**天候不順等による小中学校プールのあり方について**

**質問** ①プールの年間維持費は。②先進自治体の水泳授業の民間委託について市の見解は。

**教育長** ①平成30年度は主に水道代が約2千3百20万円、プール薬品が約3百60万円、修繕料が約千2百50万円、清掃や機器保守等の委託料が約3百60万円。②メリットは維持管理等の負担軽減や天候等左右されない屋内プールでの授業などで課題は児童・生徒の引率方法等である。

**中高生の居場所を充実させるべき**

**充実させるべき**

**掲載分以外の質問項目**  
○変化する上水本町地域の安全対策等を進めよう



総合的な窓口としての運用が開始されている市民課窓口



**ごみ集積所跡地の今後の利活用／世界で一番住みよいまちへ**  
小野高一議員（政和会）

**市が所有するごみ集積所跡地の今後の利活用について**

**質問** ①ごみ集積所跡地の今後の利活用の基本的な考え方は。②ごみ集積所跡地の箇所数は。③市所有の集積所跡地の数は。④土地区画整理事業に伴い設置されたごみ集積所跡地の従前の土地所有者等への配慮は。⑤宅地に接するごみ集積所跡地を、跡地の元土地所有者が購入を希望した場合、売却価格設定の考慮の対象となるか。

**市長** ①所在や形状等に基づき、隣地地主への売却、地域住民等への貸し出し、公共用地として利用のいずれかにより活用する。

**健康寿命の延伸を図り、世界で一番住みよいまちへ**

**質問** 平成31年3月厚生委員会提言の健康寿命延伸「こいだいら宣言」についてどう捉えているか。

**市長** 市民が健康寿命を意識することで、みずから介護予防等に取り組む効果も期待できることから、このような意識を高めていくことは必要である。



小平グリーンロードをさらに活用し  
安全で快適なまちづくりを

津本裕子議員(市議会公明党)

小平グリーンロードをさらに活用し  
安全で快適なまちづくりを

質問 ①歩行者・自転車の分離  
通行を進めるべきだが見解は。

②不審者対策で、小・中学校  
の児童・生徒を対象に現地での  
避難行動の確認等をすべきでは。

③隣接公園について、ベビー  
チェアやおむつ交換台装備のト  
イレを設置すべきではないか。

④文化財活用で、仮称グリー  
ンロード市民円卓会議など市民  
の知恵を結集する場が必要では。

市長 ①場所により管理公園と  
しての緑道など整備形態等が異  
なるほか利用者の通行状況もさ  
まざりであることから、1つの



大規模開発の現状と市街地形成  
聞こえのバリアフリーを

きせ恵美子議員(日本共産党小平市議団)

大規模開発の現状と  
市街地の形成

質問 ①3千平方メートル以上の土地  
を開発する場合、公園等の整備  
が条例どおり遵守されているか。

②今後、市は良好な住環境形  
成、特に緑地等の確保をどのよ  
うに進めていくか。

市長 ①開発面積の6%以上の  
公園及び緑地が整備されている。  
②良好な市街地の形成につな  
がるよう事業主に引き続き指導  
するほか特別緑地保全地区等の

指定を所有者の理解を得て行っ  
ている。3千平方メートル未満の開  
発事業ではフェンスを生け垣にす  
るなどの協力をお願いしている。

質問 ①喜平橋からこもればの  
足湯までは木の根が張り出して  
いるなど雨の日は危険だがゴム  
チップ舗装にする予定はあるか。  
②あかしあ通りグリーンロー  
ド化事業は進んでいるか。



グリーンロードを安全な遊歩道に  
消火活動に必要な水の確保

鈴木洋一議員(政和会)

小平グリーンロードを  
安全に散策できる遊歩道に

質問 ①防火水槽の耐震設備は  
どのようになっているか。また、  
震度幾つまで耐えられる設計か。  
②消防ポンプ車は低水位の川  
などから揚水し放水できるが消  
防団のポンプ車には低水位型ス  
トレーナーを完備しているか。

市長 ①当区間は、一部を除き  
都の管理のため、安全に通行で  
きる路面整備を要望していく。  
②27件の取り組みのうち平成  
29年度末時点で、実施済みが2  
件、一部実施が15件、検討中が  
10件である。今後も社会状況の  
変化等を踏まえ、計画の見直し  
を含めた事業推進に努めていく。



保育園の縮減方針と保育の質  
住みなれた地域で安心の介護を

鈴木だいち議員(日本共産党小平市議団)

公立保育園の4園縮減方針で  
保育の質は保てるか

質問 ①小平市保育園父母の会  
の連絡会との意見交換及び市主  
催の説明会において録音や記録  
がないことが明らかになった。  
②聴力低下が見られる人の早  
期からの補聴器使用の重要性は。  
③補聴器の利用促進対策の拡  
充を提案するが見解は。

市長 ①難聴は日常生活に影響  
を及ぼし、危険を察知できない  
などの問題の原因にもなり得る  
ため重要であると認識している。  
②コミュニケーションがとり  
やすくなり認知症の予防等につ  
ながるため重要と認識している。  
③補聴器装着は高い効果が期  
待できることから研究していく。

質問 ①幼稚園、保育所等の職  
員等からの子ども虐待の事例は  
あるか。また、発生時の対応は。  
②要介護度が進み施設入所等  
ライフスタイルを変えていかざ  
るを得ない高齢者の相談対応は。  
市長 ①市が把握した事例はな  
い。事例が発生した場合、都と  
連携しながら事実確認を行った  
上で改善に向けた指導等を行う。  
②ケアマネジャーが本人の心  
身状態の変化等を確認し個々の  
状況に応じた対応をするなどし  
市が直接相談に応じ、関係機関

質問 ①幼保連携等移行支援  
事業の2年度までに平成17年  
度比で二酸化炭素排出量を25%  
削減する目標の現状と今後削減  
の可能性のある分野の見解は。  
市長 ①2年度までに策定する  
仮称第三次環境基本計画の中に  
エコダイヤ・オフィス計画を組  
み込み、照明のLED化を位置  
付けて推進していく。  
②近年10%程度の削減にとど  
まっている。削減効果が高いLED  
化を引き続き推進していく。

質問 ①計画は策定するのか。  
②カーボン・マネジメント強  
化事業の2年度までに平成17年  
度比で二酸化炭素排出量を25%  
削減する目標の現状と今後削減  
の可能性のある分野の見解は。  
市長 ①2年度までに策定する  
仮称第三次環境基本計画の中に  
エコダイヤ・オフィス計画を組  
み込み、照明のLED化を位置  
付けて推進していく。  
②近年10%程度の削減にとど  
まっている。削減効果が高いLED  
化を引き続き推進していく。



土地取引等における条例軽視は、  
まちづくりの根幹を揺るがす

安竹洋平議員(一人会派の会)

土地取引等における条例軽視は、  
まちづくりの根幹を揺るがす

質問 ①大規模土地取引の届け  
出は取引契約の3か月前に行わ  
なければならぬが、回田町218  
番周辺で行われている宅地開発  
では契約締結後の届け出と遅れ  
たことについて、経緯、原因、  
対処、再発防止策は。  
②市は小さな公園をなるべく  
ふやしたくないと聞く。今後、  
生産緑地の宅地化が進む過程で  
都市計画法規定による公園等が  
ふえ維持管理費が増大すること  
をどう捉えどう対処するか。  
市長 ①平成28年1月に土地売  
買の相談があり届け出等の説明  
を求めた。

質問 ①公立小学校で行って  
いる特別支援教室の課題は。  
②外国にルーツがある困難を  
抱える子どもたちへの支援は。  
③不登校の子どもたちの人数  
とサポートについては。  
教育長 ①利用する児童の増加  
への対応と巡回指導教員の育成  
や研修の充実などが課題である。  
②国際交流協会と連携し日本  
語指導の経験がある講師を派遣  
③昨年度は小学校100人、中学  
校158人。実態を把握し、関係教  
職員でのケース会議開催等、組  
織的に対応するなどしている。

質問 ①小学校5年生から中学  
校3年生に向けて都から観戦チ  
ケットが提供されるが、暑さ対  
策や交通手段への考えは。  
②市の子どもの夢・未来基金の  
使い道は。  
③大会後の文化振興の基本方  
針はどのように策定するか。  
市長 ①都は公共交通機関の利  
用を想定。市は安全を考慮した  
引率体制など必要な準備を検討。  
②安全な観戦のための経費や  
競技の生中継等を中心に検討。  
③市民アンケート調査等の実  
施結果等を踏まえた策定を予定。

質問 ①小学校5年生から中学  
校3年生に向けて都から観戦チ  
ケットが提供されるが、暑さ対  
策や交通手段への考えは。  
②市の子どもの夢・未来基金の  
使い道は。  
③大会後の文化振興の基本方  
針はどのように策定するか。  
市長 ①都は公共交通機関の利  
用を想定。市は安全を考慮した  
引率体制など必要な準備を検討。  
②安全な観戦のための経費や  
競技の生中継等を中心に検討。  
③市民アンケート調査等の実  
施結果等を踏まえた策定を予定。



虐待問題と高齢者対応/室内灯  
LED化交換・設置計画策定を

虹川 浩議員(市議会公明党)

虐待問題とライフスタイルを  
変えざるを得ない高齢者対応

質問 ①計画は策定するのか。  
②カーボン・マネジメント強  
化事業の2年度までに平成17年  
度比で二酸化炭素排出量を25%  
削減する目標の現状と今後削減  
の可能性のある分野の見解は。  
市長 ①2年度までに策定する  
仮称第三次環境基本計画の中に  
エコダイヤ・オフィス計画を組  
み込み、照明のLED化を位置  
付けて推進していく。  
②近年10%程度の削減にとど  
まっている。削減効果が高いLED  
化を引き続き推進していく。

との調整等の対応を図っている。  
公共施設の室内灯LED化の  
交換・設置計画の策定を急げ

質問 ①公立小学校で行って  
いる特別支援教室の課題は。  
②外国にルーツがある困難を  
抱える子どもたちへの支援は。  
③不登校の子どもたちの人数  
とサポートについては。  
教育長 ①利用する児童の増加  
への対応と巡回指導教員の育成  
や研修の充実などが課題である。  
②国際交流協会と連携し日本  
語指導の経験がある講師を派遣  
③昨年度は小学校100人、中学  
校158人。実態を把握し、関係教  
職員でのケース会議開催等、組  
織的に対応するなどしている。

質問 ①公立小学校で行って  
いる特別支援教室の課題は。  
②外国にルーツがある困難を  
抱える子どもたちへの支援は。  
③不登校の子どもたちの人数  
とサポートについては。  
教育長 ①利用する児童の増加  
への対応と巡回指導教員の育成  
や研修の充実などが課題である。  
②国際交流協会と連携し日本  
語指導の経験がある講師を派遣  
③昨年度は小学校100人、中学  
校158人。実態を把握し、関係教  
職員でのケース会議開催等、組  
織的に対応するなどしている。



同じクラスのみんなのために  
2020オリ・パラについて

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

小・中学校でサポートが必要な  
子どもたちの支援体制について

質問 ①公立小学校で行って  
いる特別支援教室の課題は。  
②外国にルーツがある困難を  
抱える子どもたちへの支援は。  
③不登校の子どもたちの人数  
とサポートについては。  
教育長 ①利用する児童の増加  
への対応と巡回指導教員の育成  
や研修の充実などが課題である。  
②国際交流協会と連携し日本  
語指導の経験がある講師を派遣  
③昨年度は小学校100人、中学  
校158人。実態を把握し、関係教  
職員でのケース会議開催等、組  
織的に対応するなどしている。

質問 ①公立小学校で行って  
いる特別支援教室の課題は。  
②外国にルーツがある困難を  
抱える子どもたちへの支援は。  
③不登校の子どもたちの人数  
とサポートについては。  
教育長 ①利用する児童の増加  
への対応と巡回指導教員の育成  
や研修の充実などが課題である。  
②国際交流協会と連携し日本  
語指導の経験がある講師を派遣  
③昨年度は小学校100人、中学  
校158人。実態を把握し、関係教  
職員でのケース会議開催等、組  
織的に対応するなどしている。

質問 ①公立小学校で行って  
いる特別支援教室の課題は。  
②外国にルーツがある困難を  
抱える子どもたちへの支援は。  
③不登校の子どもたちの人数  
とサポートについては。  
教育長 ①利用する児童の増加  
への対応と巡回指導教員の育成  
や研修の充実などが課題である。  
②国際交流協会と連携し日本  
語指導の経験がある講師を派遣  
③昨年度は小学校100人、中学  
校158人。実態を把握し、関係教  
職員でのケース会議開催等、組  
織的に対応するなどしている。

質問 ①公立小学校で行って  
いる特別支援教室の課題は。  
②外国にルーツがある困難を  
抱える子どもたちへの支援は。  
③不登校の子どもたちの人数  
とサポートについては。  
教育長 ①利用する児童の増加  
への対応と巡回指導教員の育成  
や研修の充実などが課題である。  
②国際交流協会と連携し日本  
語指導の経験がある講師を派遣  
③昨年度は小学校100人、中学  
校158人。実態を把握し、関係教  
職員でのケース会議開催等、組  
織的に対応するなどしている。



ベビーチェア等の設置が予定されている、小平グリーンロードに隣接する公園のだけでもトイレ



### 鷹の台駅周辺のまちづくり／ワクチンで防げる病気の予防

山岸真知子議員（市議会公明党）

鷹の台公園等の整備を見据えた鷹の台駅周辺のまちづくり

質問 ①元三菱UFJ銀行鷹の台出張所跡地取得に向けた協議の今後の進捗状況は。

②鷹の台公園の本格整備は市民参加で計画策定に取り組みますが、手法についての考えは。

③公園整備の際、たかの台本通りの拡張等も検討できないか。

市長 ①取得にかかる用地費の算定や測量作業を進めている。②ワクショップやアンケート等で市民の意見を聞いていく。③整備基本計画を策定する段階で、たかの台全体のまちづくりの視点でさまざまな可能性を

考慮し公園づくりを進めていく。

ワクチンで防げる病気をしっかりと予防しよう

質問 ①風疹の第5期定期接種事業について抗体検査受診等を促進するため講じている方策は。

②いすみ市のようにHPVワクチンが定期接種であることを周知する通知を検討できないか。

市長 ①市報や市ホームページを通じて広報に努めている。②ワクチンとの因果関係が否定できない副反応の症例が見られたことに伴い、国の通知により積極的な勧奨が差し控えられていることから、対象者への個別通知は難しいと考えている。



### 情報弱者の対応強化／テレワーク事業推進／子どもたちの安全

川里富美議員（フォーラム小平）

情報を得ることに困難を感じている方への対応強化を求める

質問 ①アンブルボード購入の進捗状況は。

②市のお知らせチラシに統一規格としてFAX番号を載せられないか。

市長 ①3台購入し防災訓練等で周知、啓発に活用している。②今後検討していく。

テレワーク事業の推進を市あげて取り組むべき

質問 ①すだち導入時のテレワーク事業の目標と現在の状況は。②テレワーカーをふやすために今後何をしていくのか。

教育長 ①配布していない。②日本マクドナルド株式会社から4月上旬に全市立小学校の新1年生に配布している。



### 説明会は事業の最初に／事業評価や予算編成に市民意見反映を

橋本久雄議員（一人会派の会）

市民説明会は事業の最初に行え、市民参加が形骸化している

質問 ①説明会等を行うタイミングについてのルールはあるか。

②事業がスタートするときに説明会を行わない理由は。

③事業内容確定時でしか説明会を行わないのは自治基本条例等の理念に反しないか。

市長 ①都市計画法に基づく計画を除き、特にルールはない。②開始前に行うこともある。③事業の内容等に応じた意見聴取の取り組みを行っている。

事務事業評価や予算編成に市民意見を反映させる仕組みがない



### 花小金井武道館の代替施設と継続利用／回田町の宅地開発問題

水口かずえ議員（まちづくり市民こだいら）

花小金井武道館の代替施設の確保と継続利用について

質問 ①文化学園大学を貸してもらえない理由は。

②第十一小学校校舎更新時に、体育施設として使用可能な設備を設け、住民が利用できないか。

③武道館を劣化診断し、長く利用できるようにしてはどうか。

市長 ①武道館の耐震補強工事に伴う代替施設として大学の協力を提供された経緯から工事完了後は無理をお願いできないが、継続的情報交換等を行っている。

②花小金井武道館の代替施設としての検討はしていない。③機能移転の基本方針どおり

質問 ①事業仕分けを継続して実施しない理由は。②事務事業評価で見えてきた課題は。

③町田市のような市民参加型事業評価制度の導入への考えは。

④冊子、わかりやすい予算をテキストに説明会ができないか。

市長 ①事務事業の見直しや改善に継続的に取り組んでいる。②正確なコストの把握や事務上の効率性に課題がある。

③当市の事務事業評価とは性格が異なるもので、現在、外部評価を行うことは考えていない。④希望者への出前講座の開催等、直接市民に説明する場等設けており説明会は考えていない。



### 実践的シチズンシップ教育／福祉避難所開設運営マニュアル

山崎とも子議員（生活者ネットワーク）

実践的シチズンシップ教育をすすめるよう

質問 ①次期長期総合計画策定に向けて小学校出前授業やインタビューで得た意見をどのように計画策定に取り入れていくか。

②計画策定までに子ども・若者の参加の機会はあるか。

③市制施行60周年事業として子ども議会を行う計画はあるか。

市長 ①長期総合計画基本構想審議会や庁内の策定検討委員会等の審議の中に生かしていく。②今後、地域懇談会を開催する際に参加を広く呼びかけるほか骨子案について周知していく。③現在計画はないが、記念事業

業については今後検討していく。誰も取り残さない福祉避難所開設・運営マニュアルについて

質問 ①福祉避難所開設・運営マニュアルを作成するに当たり、当事者をメンバーに入れる予定はあるか。

②福祉避難所を設置する際の課題は何か。

市長 ①具体的なマニュアル作成のために当事者に携わってもらうことも含め、高齢者や障害者の意見や考え方を聞く機会を設けていくことを検討する。②災害対策本部との通信手段避難所運営の人員、備蓄品確保等に課題があると認識している。



### 小平駅周辺まちづくり／パラリンピックで共生社会への変革を

竹井ようこ議員（フォーラム小平）

小平駅周辺の魅力あるまちづくりについて

質問 ①小平駅北口地区再開発事業の進捗と南口との連携は。

②南口駅前自転車駐車場を地下化し民間貸与等をする考えは。

③市民まつりを駅前のあかしあ通りから開催してはどうか。

市長 ①準備組合から2年度に都市計画決定、3年度に組合設立認可取得を目標と聞いている。南口との連携ではさらなる協力体制等構築、産業活性化等が図られることが望ましい。両地区の連携の推進に取り組んでいく。

②現在、地下化の計画はなく、当該用地の活用は考えていない。

家庭的保育事業者について

質問 ①保護者への周知改善は。②定員にあきがある際の弾力的運用とは。③定員割れとなった家庭的保育事業者に対する支援策は。

市長 ①事業者作成のリーフレットを配布し、子育て応援サイトなどに写真入り紹介記事を掲載してもらうなどしている。②2人定員の年齢にあきがある場合はほかの1人定員の年齢を2人に変更して対応している。③一次選考で非内定となった児童の保護者に施設のあき情報を知らせるなどしている。



### 家庭的保育事業者／福祉会館前広場について

小林洋子議員（フォーラム小平）

福祉会館前の市民広場について

質問 ①使用している団体からの要望及びそれに対する回答は。②ゲートボールの団体から屋根をつけてほしいとの要望があるがどうか。

市長 ①今後の福祉会館前の市民広場をどのように考えているか。

市長 ①イベント時の電源使用の要望があり自費での仮設電源設置工事をお願いするなどしている。②多目的な使用を前提としているので考えていない。③中央公民館等の更新等に關する仮称新築物の建設予定地として想定している。



多目的に使用されている福祉会館前の市民広場



### 市内の空き家について GAP 認証農産物を広めよう

比留間洋一議員 (政和会)

#### 小平市内の空き家について

①把握している空き家の数と過去4年間の推移はどうか。  
②どのような方策で空き家に  
対処しているか。

市長 ①元年7月末までに相談  
等で把握している空き家等は408  
件である。平成27年度末で203件、  
28年度末で241件、29年度末で299  
件、30年度末で379件である。

②空き家等対策の推進に関する  
特別措置法等に基づき空き家  
等が管理不全な状態にならない  
よう所有者等に適正管理を促し  
ているほか空き家等対策計画を  
策定し、予防、適正管理、利活  
用の対策を定め取り組んでいる。



### SNS等の活用によりICTの 力で市民サービスを上げよう

松岡あつし議員 (政和会)

#### SNS等の活用によりICTの 力で市民サービスを上げよう

①地域センターのインタ  
ーネット予約はできないか。  
②福岡市等で行っている生活  
に密着した情報の中から選択し  
た情報をSNSでタイムリーに  
届けるサービスができないか。

③SNSで住民票の申請から  
支払い・取得まで行うワンスト  
ップサービスを実施できないか。  
④SNSで市民から道路・河  
川・公園の傷みの通報を受け付  
ける仕組みを実施できないか。

市長 ①検討を進めている。  
②市民サービス向上に効果的  
な情報配信方法を研究していく。



### 非核平和事業の継続、発展問う 小川駅西口再開発と周辺課題

細谷 正議員 (日本共産党小平市議団)

#### 非核平和事業の継続、発展及び 米軍横田基地について問う

①広島市立基町高等学校  
の生徒と被爆証言者との共同制  
作による原爆の絵を展示資料と  
して検討してはどうか。

市長 ①6月の通常総会では権  
利者間で事業の必要性に対する  
理解はおおむね得られている。  
8月の周辺説明会では延べ77人  
が参加、多くの質問や要望が出  
された。引き続き積極的かつ丁  
寧な情報発信に努めていく。

②昨年度は3回開催した。本  
年度は4回程度開催する予定で  
ある。多く参加してもらうため  
自治会等を通じ働きかけている。  
【掲載分以外の質問項目】  
○年金のみで生活できない実態  
の把握を急ぐべき



### 市民主体の公園づくり等推進 喫煙者に積極的禁煙促進ケアを

山浦まゆみ議員 (生活者ネットワーク)

#### 市民主体の公園づくり、公園活用を 推進する仕組みをつくらう

①市民が利用しやすい公  
園の整備は市の重要な役割では。  
②新たな公園づくりや公園の  
利活用は市民主体ですべきでは。

③市内の小規模公園を市民に  
親しまれる場所にしていくため  
にどのような取り組みが必要か。  
市長 ①地域に愛される安全性  
の高い公園等の整備を目指して  
おり、重要な役割の1つである。

②市が整備する公園は市民の  
意見を踏まえた整備が重要。  
③リニューアルの際、できる  
限り意見を聞いておりアダプト  
制度等のさらなる啓発を進める。



### 吹奏楽のまちこだいらの推進 市民文化会館の大規模改修を

山田大輔議員 (政和会)

#### 吹奏楽のまちこだいらをまち づくりの観点から推進すべき

①吹奏楽のまちこだいら  
についての市の見解はどうか。  
②羽村市の小中一貫教育音楽  
担当学習コーディネーター配置  
のシステムを導入すべきでは。

市長 ①小平市文化振興財団が  
活発な吹奏楽活動に着眼し、地  
域特性を生かした取り組みと認  
識しており、親しみあるキャッ  
チフレーズと捉えている。  
②現在、具体的な計画はない。  
緊急性が高く改修や更新が必要  
な設備等の予算措置を行っている。  
近隣の類似施設の改修事例  
等を検証し、今後も安心して利  
用できるよう検討していく。

②大規模改修の計画はどうか。  
市長 ①経年劣化での汚れや傷  
みが多数発生している判定とな  
り築60年までの長期保全に対す  
る修繕等の工費は概算で百億  
円規模が必要との結果になった。



### 用語の解説

※1 Society 5.0  
時代とは  
サイバー空間(仮想空間)  
とフィジカル空間(現実空間)  
を高度に融合させたシステム  
により、経済発展と社会的課  
題の解決を両立する、人間中  
心の社会と定義される新しい  
時代のこと。  
※2 ストレーナーとは  
吸水時に、水中に含まれる  
異物を除去するため、網状の  
穴を通してろ過する装置のこ  
と。  
※3 アンブルボードとは  
アクリルボードにマーカー  
で書いた文字をLEDで光ら  
せ、暗所で視覚的な情報伝達  
を可能とする災害時の情報伝  
達、避難誘導用具のこと。  
※4 テレワークとは  
情報通信技術を活用した、  
場所や時間にとわれない柔  
軟な働き方のこと。

議員の寄附行為は  
禁止されています  
政治家が、選挙区内の人や団  
体にあいさつ状(答礼)のための  
自筆によるものは除く)を出し  
たり、お金や物を贈ることは、  
時期や理由を問わず法律で禁止  
されています。受け取った人も  
罰せられます。  
また、有権者が政治家に対し  
寄附を求めることも禁止されて  
います。  
具体例は次のとおりです。  
○お中元やお歳暮  
○お祭りへの寄附や差し入れ  
○秘書や家族などが代理で出席  
する場合の結婚祝いや香典  
○葬式の花輪や供花  
○落成式、開店祝いの花輪やお  
祝い  
○運動会やスポーツ大会への飲  
食物の差し入れなど  
市民の皆様のご理解とご協力  
をお願いします。

吹奏楽のまちこだいら発のポスター

### 市議会 ホームページ

小平市議会のページには、さ  
らに  
FAX 042(346)9566

### 音声市議会だより

5月、8月、11月、2月の年  
4回、目の不自由な方に音声に  
よる市議会だより(カセット版  
またはデジタル版)を発行して  
います。  
ご希望の方は、議会事務局ま  
でご連絡ください。  
042(346)9566

# 請願

9月定例会では、請願2件を新たに受理し、1件を採択、1件を継続審査としました。

採択した請願は意見書の提出を求めるもので、意見書欄に要旨を掲載しています。また、閉会中の継続審査となった請願は左記のとおりです。

## 閉会中継続審査の請願一覧

**厚生委員会**  
 請願第2号 精神障害者への小平市中心身障害者福祉手当の支給を求めることについて

# 意見書

9月定例会では2件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

## 選択的夫婦別姓制度について十分な国会審議を求める意見書

我が国において夫婦が同じ氏を称する夫婦同氏制が導入されたのは、明治31年であり今から121年前になります。

平成30年に内閣府が公表した世論調査では、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓制度の導入に賛成・容認と答えた国民は、66・9%となり反対の29・3%を大きく上回ったことが明らかになりました。

平成27年に最高裁判所は、夫婦同姓制度は合憲としながらも、

同時に選択的夫婦別姓制度について、合理性がないと断ずるものではないと言及し、制度あり方について、国会で論じられ判断されるべきとしました。

一方で選択的夫婦別姓制度に関しては、子どもの姓に関して等さまざまな課題が山積する中、時間をかけて慎重に議論を行うべきとする世論調査の結果もあります。

よって本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、選択的夫婦別姓制度について十分に審議するように求めるものです。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣あて

## 東京都心身障害者福祉手当に関する条例において精神障害者を適用対象とすることを求める意見書

精神障害疾病は誰もがかかり得る極めて普遍的な疾病です。しかし精神障害疾病患者は、この病気の特性的なため社会一般の理解が正しく得られていない状況にあります。

よって本市議会は、東京都に対し、次の事項を求めます。

1 東京都心身障害者福祉手当に関する条例において精神障害者を適用対象とすること。

東京都知事あて

# 市民と議会の意見交換会を4会場で開催します

今回は、9月定例会の報告を行ったのち、会場ごとに設定されたテーマをもとに市民の皆さんと意見交換を行います。詳しい内容は以下のとおりです。ご参加をお待ちしています。

**みんなで考える みちづくり・まちづくり**  
 ~あかしあ通りグリーンロード化について~  
 日時：11月4日(月) 午前10時~正午  
 場所：鈴木地域センター第一、第二集会室  
 担当：環境建設委員会班

**ICTの利活用による小平の未来のかたち**  
 日時：11月4日(月) 午後2時~4時  
 場所：花小金井北地域センター第一、第二集会室  
 担当：総務委員会班

**みんなで考える「健幸こだいら」**  
 日時：11月5日(火) 午後7時~9時  
 場所：小川公民館ホール  
 担当：厚生委員会班

**住みたい・行きたい・買ってみたい**  
 ~人と店が集まる街こだいらへ~  
 日時：11月11日(月) 午後7時~9時  
 場所：小川町一丁目地域センター集会室1・2  
 担当：生活文教委員会班

**費用** 無料  
**定員** 各会場40人程度 ※当日直接会場へお越しください(先着順)。  
**その他** 磁気ループ設置・手話通訳あります(申込不要)。  
**問合せ** 議会事務局 042(346)9566

## 8月の意見交換会では多くのご意見をいただきましたありがとうございました

**日時** 8月4日(日) 午前10時~正午  
**場所** 中央公民館2階 ホール  
**参加者数** 41人



▲当日の様子

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果については、市議会ホームページ (<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>) のほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

## 第四次長期総合計画基本構想特別委員会を設置

現在、市では令和3年度からの市政運営の指針である第四次長期総合計画の策定を進めています。

この計画の基本構想に関する事項について調査・審査を行うために9月定例会初日に小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会を設置しました。この特別委員会は議会において基本構想が議決するまで継続します。

- ◎ 委員長 ○ 副委員長
- ◎ 松岡あつし ○ 橋本久雄
- 伊藤 央 川里 富美
- さとう悦子 佐藤 徹
- 竹井ようこ 橋本 孝二
- 福室 英俊 細谷 正
- 水口かずえ 山田 大輔
- 幸田 昌之

## 議場見学

《小学3年生》  
 ○10月4日 上宿小56人

## あとがき

9月定例会では、令和元年度一般会計補正予算(第2号)など、さまざまな議案について活発な議論が交わされました。

今後もよりわかりやすく親しみやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1801 小平市小川町二丁目 1333番地

TEL 042(346)9566  
 FAX 042(346)9567